

道路への落石を防ぐ防護柵工事の手順



着手前（落石を除去後）

【今回の落石防止工の目的】
山からの落石による危険から道路を通行する人や車を防護する事を目的としています。



①削孔
(ダウンザホールハンマー工)

支柱を建て込むための穴を掘ります。支柱間隔と施工延長が確保できることを確認して、丁張り等で印をつけ、削孔機械（ダウンザホールハンマー）を使用して削孔します。



②支柱組立・建込

削孔後、支柱を建て込みます。支柱内部に補強材を挿入し、固定ボルトで取付を行います。支柱には隙間を埋める材料を注入するので、漏れ出しが無いように、ボルトの隙間もしっかり埋めます。



③支柱外周モルタル注入

建て込んだ支柱を固定するため、仮固定した支柱の外周部分に、モルタル（セメント+砂+水）を注入します。隙間や材料の分離が発生しないように注意します。



④支柱内部にセメントミルク注入

支柱内部を密に埋めるため、セメントと水を練り混ぜたセメントミルクを支柱内部へ漏れが無いように注入します。



⑤支柱末端のサポート取付

高所作業車及びクレーンを使用し、支柱末端に取り付けてあるサポートをボルトで片側を二箇所ずつ締めて、間隔と角度を確認します。



⑥横ロープの加工・取付

支柱をつなぐワイヤーロープを設置します。長さに注意しながら高速切断機で切断します。各支柱には金具が取り付けられていて、ワイヤーロープの無駄な弛みが無い事を確認したら、締めて固定します。



⑦-1 金網取付

金網は、クレーンで吊り上げ、所定の位置に設置します。金網の継ぎ目は一連になるように編み込みます。また、地面と金網下端の間には隙間が無いように取付を行います。



⑦-2 結合コイル取付

所定の位置でワイヤーロープに金網を連結させるため、結合コイルを設置します。



完成